学校番号	1004

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	つかむ生物基礎（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てる」。小・中学校での理科の学習を終えて、人と自然について「遺伝子」、「恒常性」、「生態系」という３つの視点を見ると、どのように見えてくるのか？ また、どのように生き、行動すれば人と自然を大切にし、健康な生活を送れるのか？ この２つの問題を常に意識して、学び考え続けてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
　生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。また、観察・実験等を行い、基本的操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確の記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　生物と遺伝子	1　生物の特徴 2　遺伝子とその働き	a：生物の多様性と共通性の視点を身につけ,生物の体を構成する共通の基本単位である細胞の構造とはたらきを学び,生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 b：生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解し,細胞および生物の構造について考察し、より発展的な問題にも挑戦できる。 c:多様な生物に関心を持ち、形態や生活の多様さを知ろうとする意欲を持っている。	定期考査 授業プリント提出 ノート提出 問題集課題提出	定期考査 授業プリント提出 ノート提出 問題集課題提出	授業プリント提出 ノート提出 問題集課題提出
2学期	第2章　生物の体内環境の維持	1　体液の恒常性 2　自律神経系とホルモン 3　免疫	a：生物の体内環境の維持について観察，実験などを通して探究し,生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解し,体内環境の維持と健康との関係について認識する。 b：体内環境の維持に自律神経とホルモンがどのようにかかわっているかを考察する。 c：体内環境の恒常性に自律神経がかかわっていることを調べようとする。多様なホルモンが特定の内分泌腺から分泌されていることに関心を持つ。免疫とそれにかかわる物質や細胞の働きについて関心をもつ。	定期考査 授業プリント提出 ノート提出 問題集課題提出	定期考査 授業プリント提出 ノート提出 問題集課題提出	授業プリント提出 ノート提出 問題集課題提出

3学期	第3章 生物の多様性と生態系	1 植生の多様性と分布 2 生態系	a: 生物の多様性と生態系について観察，実験などを通して探究し，生態系の成り立ちを理解し，その保全の重要性について認識する。 b: 生物の多様性と生態系について観察，実験などを通して探究し，生態系の成り立ちを理解し，その保全の重要性について考察する。 c: 気候に適応した様々なバイオームが成立していることとその特徴を学ぶ。	定期考査 授業プリント提出 ノート提出 問題集課題提出	定期考査 授業プリント提出 ノート提出 問題集課題提出	授業プリント提出 ノート提出 問題集課題提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度